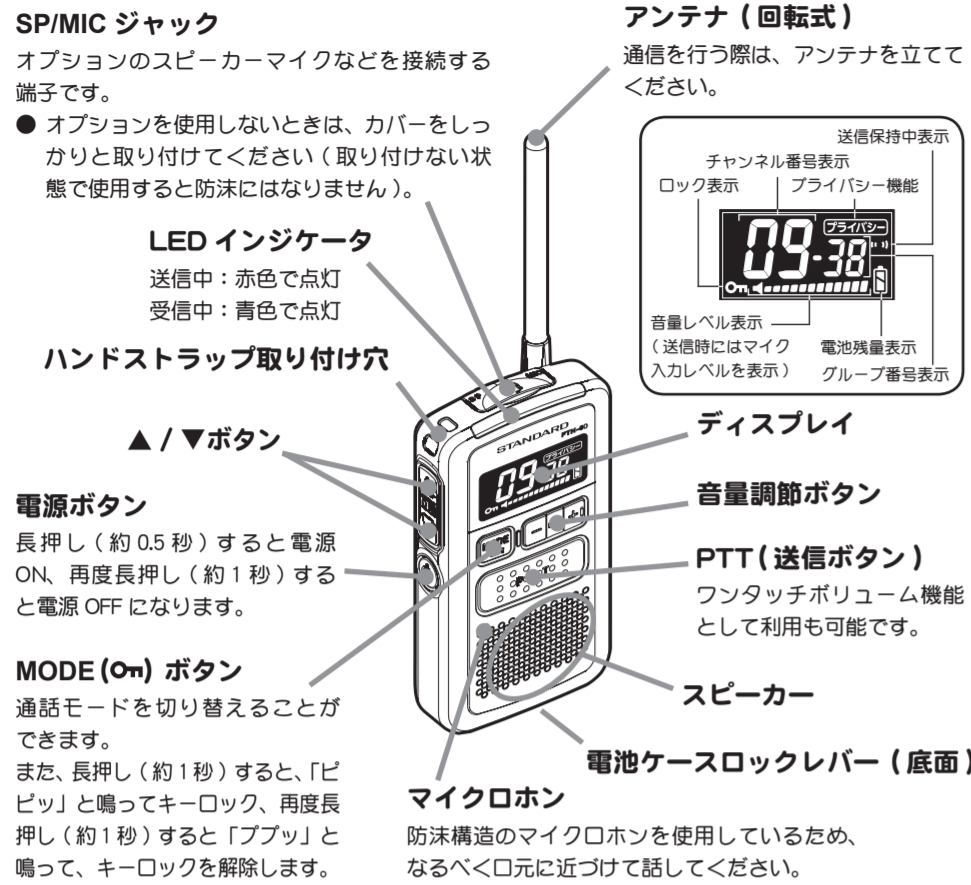




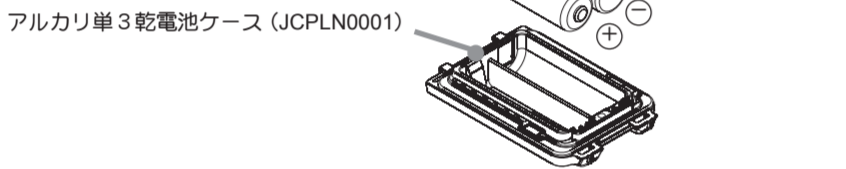
## 基本的な使いかた

### 各部のなまえ

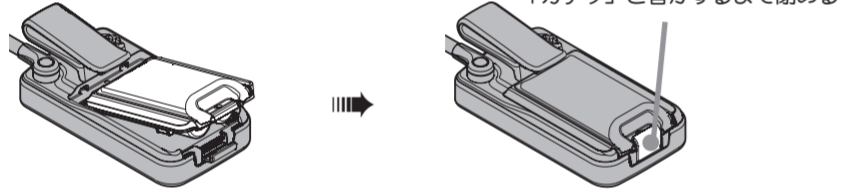


### アルカリ単3乾電池ケースの取り付けかた

- アルカリ単3乾電池 2 本を、極性 (プラス、マイナス) を間違えないように、アルカリ単3乾電池ケースにセットします。



- アルカリ単3乾電池ケースを、トランシーバーに取り付けます。
- 底面のロックを、確実に閉めます。



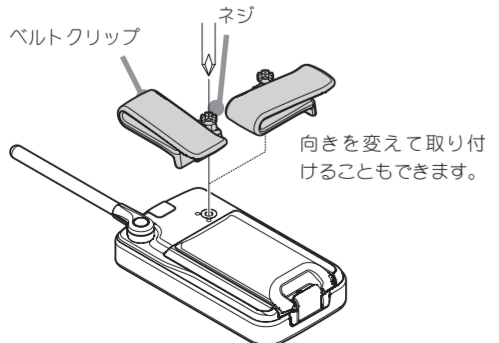
- 長時間使用しない場合は、アルカリ単3乾電池を取り外しておいてください。
- アルカリ単3乾電池以外は使用しないでください。
- 端子をショートしないでください。
- ケースの破損、変形、キズおよびパッキンの劣化等が生じた場合は使用しないでください。

### 使用時間の目安

使用できる時間の目安*は次のとおりです。	電池残量はアイコン表示で知らせます。
アルカリ乾電池 内蔵スピーカー使用時 → 約 40 時間 イヤホン使用時 (LED インジケータオフ) → 約 60 時間	→ 十分使えます。
リチウムイオン電池パック (BN60) 内蔵スピーカー使用時 → 約 24 時間 イヤホン使用時 (LED インジケータオフ) → 約 36 時間	→ 少なくなりました。
	→ 残りわずかです。
※ 6 秒送信、6 秒受信、48 秒待ち受けの測定条件になります。 上記の使用時間は目安ですので、実際に使用できる時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。	→ すぐにアルカリ乾電池を交換してください。 (すぐにリチウムイオン電池パック (BN60) を充電してください。)

### ベルトクリップの取り外しかた / 向きの変えかた

- ベルトクリップは、取り外したり、向きを変えて取り付けることができます。
- ベルトクリップを外すときは、ネジをコインドライバーを使用して外してください。
- ベルトクリップを取り付ける際は、使用中に外れることがないように、ネジでしっかりと取り付けてください。
- ベルトクリップを横向きに取り付けた状態で、アルカリ単3乾電池ケース (JCPLN0001) の取り付け / 取り外しを行う際は、一旦ベルトクリップを外してください。



### 基本的な通話のしかた

本機には、状況に応じて選べる3つの通話方法 (ノーマルモード、グループモード、プライベートモード) があります。通話のしかたはどのモードでも同じで、ここでは、基本となるノーマルモードの通話方法を説明し、グループモードについては、右記の「グループモードの設定」を行い、プライベートモードについては、右記の「プライベートモードの設定」を行ってから、下記の方法で通話してください。

- 選べるチャンネルは、合計 20 チャンネル (1 ~ 9、01 ~ 11) です。

- ① 電源を入れる**  
電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) すると、電源が入ります。  
「ピッ」と電子音が鳴ります。
- ② チャンネルをあわせる**  
▲または▼ボタンを押して、相手と同じチャンネルにします。
- ③ 押しながら話す**  
PTT (送信ボタン) を押しながらマイクロホンに向かって話します。
  - ・ディスプレイに「m」が表示されます。
  - ・LED インジケータが「赤色」に点灯します。
  - ・PTT (送信ボタン) を離すと、相手の話を聞くことができます。
  - ・防沫構造のマイクロホンを使用しているため、なるべく口元に近づけて話してください。

- 相手の声を聞きながら、音量調節ボタンで音量を調節してください。
- 連続して送信できる時間は3分以内です。  
3分間連続して送信し続けると、送信は自動的に停止します。  
なお、送信が停止する 30 秒前になると、ディスプレイに数字でカウントダウン表示され、送信が停止する 10 秒前には、「ピピッ」と警告音が鳴ります。  
また、送信が停止した場合、その後の 2 秒間は PTT (送信ボタン) を押しても「ブププププ...」と警告音が鳴り送信できません。
- 相手の信号を受信しているときは、送信できません。  
LED インジケータが青色に点灯しているときは、PTT (送信ボタン) を押しても「ブププププ...」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

### ボタンをロックする

誤ってボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないようにすることができます。

- 工場出荷時は、▲ / ▼ ボタンと MODE (Om) ボタンがロックするように設定されています。
- 音量調節ボタンの「+」を押しながら電源を入れると、音量調節ボタンもロックされるようになり、音量調節ボタンの「-」を押しながら電源を入れると、音量調節ボタンはロックされなくなります。
- ボタンをロックすると、セットメニューによる設定の変更やオールリセットもできなくなります。これらの操作は、ロックを解除してから行ってください。

**ボタンをロックするには**  
MODE (Om) ボタンを長押し (約 1 秒) すると、「ピピッ」と鳴ってボタンがロックされます。  
「Om」が点灯します。

再度 MODE (Om) ボタンを長押し (約 1 秒) すると、「ブプッ」と鳴ってボタンのロックが解除されます。  
「Om」が消えます。

### SP/MIC ジャックの接続について

オプションのマイク / イヤホンを接続しているときに電源を入れると、聴力障害を防ぐため、自動的に音量が下がります。

- 音量レベルを半分以上にしているときのみ、動作します。



- 外部マイク接続時は防沫になりません。外部マイク接続時に雨天等でご利用になる場合は、外部マイクのケーブルを伝わってトランシーバー内部に水が入らないようご注意ください。故障の原因となります。

**Radio Communication Solutions**  
**株式会社 ジャパンエニックス**  
**JAPAN ENIX CO., LTD.**

□ 本社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351  
□ 関西支店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700

□ 札幌営業所 □ 名古屋営業所  
□ 仙台営業所 □ 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/>



## 便利な使いかた

### 通話モードの切り替えかた

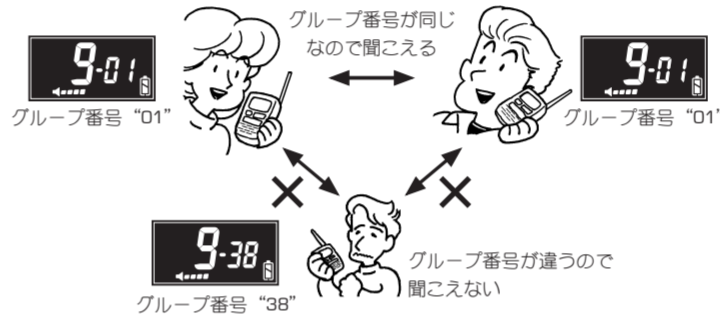
通話を行うモード (通話モード) として、次の 3 通りの方法があります。状況に応じて使い分けてください。

- ノーマルモード → 他のグループの通話が聞こえる心配がないとき。
- グループモード → 他のグループの通話が聞こえてわずらわしいとき。  
チャンネル番号とグループ番号が一致すると通話ができます。
- プライベートモード → 他人に通話を聞かれないとき。

**通話モードを切り替えるには**  
MODE (Om) ボタンを押すたびにモードが切り替わります。  
初期値は「ノーマルモード」に設定されています。

### グループモードの設定

「同じチャンネルで他のグループの通話が聞こえてわずらわしい」そんな時に、あらかじめ同じグループ番号に設定しておくと同組の音声だけが聞こえます。  
グループモードにすると、受信終了時の「ザーツ」音をカットして聞きやすくなります。オプションのタイピンマイク & イヤホンや、ブームマイク & イヤホンを使用される場合は、グループモードで使用されることをおすすめします (詳細は「セットメニューによる機能設定」の「PTT デイレイ機能」を参照ください)。



- ① MODE (Om) ボタンを押す**  
グループモードにします。
- ② 電源を切る**  
電源ボタンを長押し (約 1 秒) すると、電源が切れます。
- ③ MODE (Om) ボタンを押しながら電源を入れる**  
セットメニューの「GP-01」が表示されます。
- ④ グループ番号を選ぶ**  
▲または▼ボタンを押して「01 ~ 38」の中から任意のグループ番号を選択します。
- ⑤ PTT (送信ボタン) を押す**  
セットメニューの設定が終了します。  
左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。  
他人の通話が聞こえる場合は、グループ番号を変更してください。

### DCS コードに切り替える

グループモードで、グループコード (38 種類) が不足した時など、グループコードに替えて、104 種類の DCS コード (d023 ~ d754) を使用することができます。

- 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。
- MODE (Om) ボタンと左側面の▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。
- DCS コード設定状態になり「oFF」が点滅しています。▲または▼ボタンを押して、「d023 ~ d754」の中から、希望の DCS コードを選択します。
- PTT (送信ボタン) を押します。  
DCS コードが設定され、グループコードの代わりに「dc」が表示されます。  
PTT (送信ボタン) 以外に、電源ボタンを長押し (約 1 秒) して電源を切っても、DCS コードの設定を完了させることができます。
- 上記の「通話モードの切り替えかた」のグループモードと同様に通話することができます。

- 設定の解除・変更のしかた  
① 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。  
② MODE (Om) ボタンと左側面の▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。  
③ 現在設定されている DCS コード「dxxx」が点滅するので、▲または▼ボタンを押して、「oFF」(解除) または別の DCS コードを選択します。  
④ PTT (送信ボタン) を押します。  
DCS コード設定が終了し、ノーマルモードに戻ります。

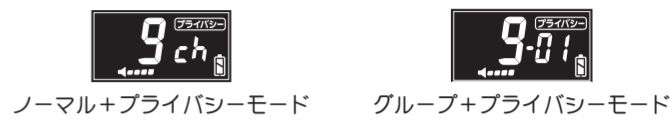
- DCS コードの確認  
① 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。  
② MODE (Om) ボタンと▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。  
③ 現在設定されている DCS コード「dxxx」が点滅します。  
④ 確認が終わったら、PTT (送信ボタン) を押します。

### プライベートモードの設定

プライベートモードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。  
プライベートモードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができます。

- 同じチャンネルでプライベート機能を動作させたトランシーバーでは、通話内容を聞くことができる場合がありますので、重要な内容の交信は控えるようにしてください。
- プライベート機能付トランシーバーでも、機種が違っても、交信できない場合があります。

- ① 「プライベート」が点灯するまで MODE (Om) ボタンを何度か押します。
- ② 「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。



### セットメニューで設定する便利な使いかた ①

#### PTT (送信ボタン) を押さずに送信する - VOX 機能 -

PTT (送信ボタン) を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。

- ① 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。
  - ② MODE (Om) ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。
  - ③ 「voF」が表示されるまで、MODE (Om) ボタンを何度か押します。
  - ④ ▲または▼ボタンで、「vo-on」にあわせます。
  - ⑤ PTT (送信ボタン) を押します。  
設定操作を行う前の状態に戻ります。
- VOX の感度や遅延時間を、セットモードで細かく設定することができます。詳しくは裏面の「セットメニューによる機能設定」をご確認ください。
  - VOX 機能は PTT ホールド機能および自動マイク感度切替機能と同時に利用することはできません。

#### 送信状態を保持する - PTT ホールド機能 -

PTT (送信ボタン) を一度押すと、再度 PTT (送信ボタン) が押されるまで、送信状態を保持させることができます。

- ① 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。
  - ② MODE (Om) ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。
  - ③ 「Ph-o」が表示されるまで、MODE (Om) ボタンを何度か押します。
  - ④ ▲または▼ボタンで、「Ph-on」にあわせます。
  - ⑤ PTT (送信ボタン) を押します。  
設定操作を行う前の状態に戻ります。
- 連続して送信できる時間は 3 分以内です。
  - VOX 機能と同時に利用することはできません。

#### 瞬時に音量を切り替える - ワンタッチボリューム機能 -

アクセサリの外部マイクを使用している時、PTT (送信ボタン) を押すと、瞬時に設定した音量に上げる、または元の音量に戻すことが可能です。

- ① 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。
- ② MODE (Om) ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。
- ③ 「PS-P」が表示されるまで、MODE (Om) ボタンを何度か押します。
- ④ 左側面の▲または▼ボタンで、希望の音量レベルを選択します。
- ⑤ PTT (送信ボタン) を押します。



- 設定操作を行う前の状態に戻ります。
- 送信は外部マイクの PTT (送信ボタン) で行ってください。

#### 通話可能か常時チェックしたい - コールバック機能 -

グループモード時に、あらかじめ下記の設定を行っておくと、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」、常時チェックしながら通話ができます。

- ① MODE ボタンを押してグループモードにします。  
仲間同士で決めたグループ番号とチャンネル番号になっているか確認します。
- ② 電源ボタンを長押し (約 1 秒) して、電源を切ります。
- ③ MODE ボタンを押しながら、再度電源ボタンを長押し (約 0.5 秒) して、電源を入れます。
- ④ MODE ボタンを何度か押して「cb-oF」を選択します。
- ⑤ ▲ボタンまたは▼ボタンを押して「cb-on」にします。
- ⑥ 通話 (PTT) スイッチを押します。  
セットメニューの設定が終了し、ディスプレイに「ot」と「グループ番号」が交互に点灯します。
- ⑦ 左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

■ 通話可能を確認するには (電子音とディスプレイの表示で確認できます)

	状況	電子音	表示
通話可能	・相手と通話できる範囲にいる ・相手の電源が入っている	約 1 分後に一度だけ「ピピッ」と鳴る	電子音が鳴った後「n」とグループ番号が交互に点灯する 
通話不可能	・相手と通話できない場所にいる ・相手の電源が切れている	約 1 分後に一度だけ「ブプッ」と鳴る	電子音が鳴った後「ot」とグループ番号が交互に点灯する 

- 同じチャンネルで同じコードナンバーが他の使用者に使われているときは、「グループモードの設定」を参照して、仲間同士で他のグループ番号に切り替えてください。
- 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、受信状態になり、通話できません。